

シカと共生できる里山を考えるIX

「里山の恵み、シカ肉を食べて森を守ろう!」

三田市内の里山ではイノシシ、シカが増えた結果、農作物の害獣災害が拡大しています。その対策として電柵、ネットが張りめぐらされ里地の景観が損なわれています。今回、野生生物（シカ、イノシシ）の生態を勉強し里山の恵みである「シカ肉」を美味しく食べて、農作物被害がなくシカと共生できる里山を考えます。

<日 時> 2017年2月11日（土・祝）

10:00~14:00（受付9:30~）

<会 場> 有馬富士共生センター（有馬富士公園休養ゾーン内）

定 員：40人（小学生以下は保護者同伴）

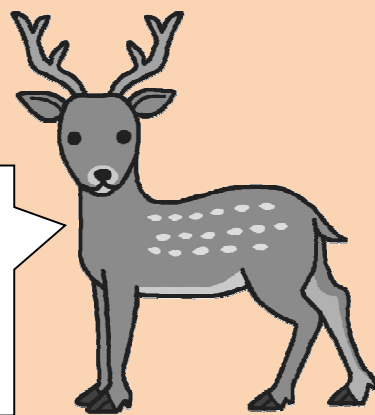
参加費：1人につき1000円

持ち物など：メモ用紙

雨天時：雨天であっても実施

事前申込：必要

兵庫県森林動物研究センターの畑先生をお迎えし、「害獣」に関する講演を予定しております。



- 申込方法：ハガキかファックス、eメールで参加希望者の〒住所、氏名、年齢（又は学年）、電話番号を記入の上、ひょうご森のインストラクター会 山下武士まで
〒669-1547 三田市富士が丘3-7-9
f a x : 079-562-7878
eメール：st-yamashita@zeus.eonet.ne.jp

- 〆切り：2017年2月5日（日）必着。応募多数の場合は抽選

問い合わせ先：079-562-7878（山下）

主催：ひょうご森のインストラクター会
共催：有馬富士公園運営・計画協議会